

外部機器との接続

タブレット端末をはじめとしてICT機器にはさまざまな接続端子があります。ここでは、機能を充実させるために必要な外部機器と接続するために必要な、コネクタについて紹介します。

コネクタの種類

USB Type-A



Windows tablet や Chromebook など、多くのタブレット端末、パソコンで接続が可能です。外部機器の接続とデータ転送に使用されます。

USB Type-B



mini-B



micro-B



最近ではあまり使用されなくなりましたが、プリンタとの接続や小型機器との接続に使用されています。

USB Type-C



最近では多くのパソコンやタブレット端末で使用できます。上下左右対称形なため、どちらを上向きにしても接続できます。外部機器接続、データ転送のほか、高電力での充電、映像転送が可能な規格のものもあります。

Lightning



iPadなどのiOS端末で接続が可能です。上下左右対称形なため、どちらを上向きにしても接続できます。外部機器との接続のほか、充電ケーブルとしても使用されています。最近のiOS端末では、徐々に上述の USB Type-C に置き換わってきています。

3. 5mmピンプラグ



マイクやイヤホン、ヘッドセットなどを接続できます。ほぼすべての端末で使用できますが、右図のように、2極、3極、4極のものがあり、それぞれ

対応するジャックがあるので、注意が必要です。2極と3極はイヤホンまたはマイクのみ、4極はイヤホンマイクとして主に使用されます。対応するジャックは見た目は区別しにくいので、下図のようにマークで区別します。

4極対応



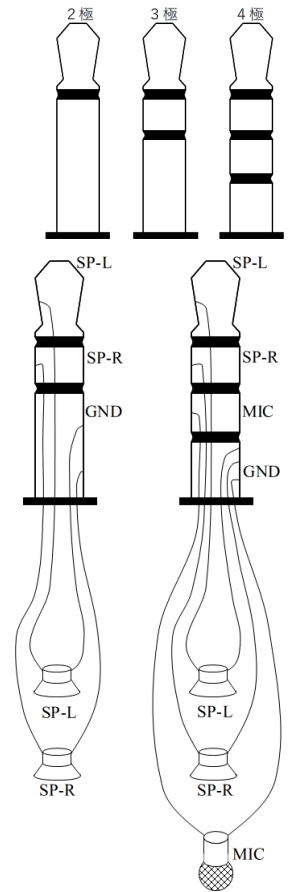
3極対応

(音声出力)



3極対応

(音声入力)



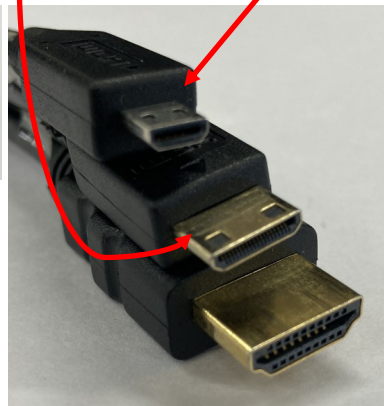
ピンプラグは右図のような配線になっているので、プラグとジャックの極数が合わないと、すべての機能を生かすことができません。例えば3極対応音声出力のピンジャックに4極ピンプラグを挿しても、マイク入力ができない状態になります。

HDMI



miniHDMI

microHDMI



モニターやプロジェクターと接続することができます。このコネクタだけで映像と音声を両方とも出力することができます。端子の形状は、サイズに合わせて、micro、miniもあります。

VGA (アナログRGB)



モニターやプロジェクターと接続が可能です。この端子では映像信号のみ出力されるため、音声は出力されません。HDMIが使えないときなどに使用できると便利です。